生ゴミ処理機1年間で100万円のリース料を払っているし、電気料も年50万円掛かっている。生ゴミ処理機は20数人しか使っていないと思うのでもったいない。
ゴミ減量説明会も懇談会形式にして、月例町内会長会議や組長会議でも議題として、ゴミ減量を全員に意識させるべきと思う。

（回答）
小川第11自治会で行っていたております、生ごみ処理機を使った地域での生ごみ処理は、焼津市地域生ごみ処理モデル事業として平成22年11月から平成27年10月まで5年間のモデル事業として行っております。生ごみ処理機の維持管理には、ご意見がありましたリース料や電気料の費用のほか保守点検等の費用もあり多額の費用がかかっております。

現在、市では生ごみは燃やすごみに出さずに、それぞれのご家庭等で処理していただくことによってごみの量を減らす、生ごみの家庭内処理を推進しておりますので、この事業の継続につきましては、維持管理費と併せて利用者数や設置場所のことも含めた中で検討が必要だと考えております。

また、ごみ減量説明会につきましては、燃やすごみの中に含まれている割合が多い生ごみ、紙類、プラスチック類を分別して出していただくことがごみの減量につながることから、これら的内容を中心にして説明をしており、説明会の中で参加された方から質問を受けてお答えしております。ごみの減量を一人でも多くの方に意識していただくことは大変重要なことですので、説明会のやり方等に関して現自協の役員様と相談していきたいと思います。

【担当】環境部 廃棄物対策課 電話：626-1130
(ご意見・ご要望)

左口のミニディ補助金をいただき、やりやすくなってはいるが、色々な書類を出
す際、社協の分は回答があるが、市の方については回答がない。年に一度は現場を
見てほしい。

(回答)

昨年、各団体様から実績報告と領収書をご提出いただいた際に、現場を見てほしい
との声や活動内容についてのいろいろなお話を聞かせていただきました。そのため、
平成27年度より実際の活動現場を拝見しながら補助金の平成26年度決算に関する事後
調査をさせていただくこととし、平成26年度に開催されましたミニディ連絡会（5月
と2月）にてご説明をさせていただいております。
また、同連絡会でもご説明をさせていただきましたが、平成26年度時点で市内にミ
ニディを開催されている団体が55団体あり、1年間ですべての団体を訪問することは
容易ではありませんので、補助金関係資料の保存期間として設定させていただいてお
ります5年間で全団体を訪問させていただく予定でおります。

各団体から実績報告書と一緒にいただいております皆様からのご意見ご要望につき
ましては、ミニディ連絡会や各団体訪問時にご回答させていただきたいと考えていま
すので、よろしくお願いいたします。

【担当】 健康福祉部 長寿福祉課 電話：626-1117

(ご意見・ご要望)

6.1 西小路公園（西小川6丁目）は防災訓練などでも使っているが、トイレがありま
せん。設置してもらえないか。

(回答)

当公園のトイレの設置については、公園自体が小規模でご近所の方々の利用を想定
していたこと、また、公園の整備時においては、地域の皆様の意見を聞き検討を進め
た中で、トイレの設置要望はなかったと聞いております。以上の点からも、現時点に
おいて、改めてトイレを設置することは考えておりません。
なお、既成住宅地における、新規トイレの設置場所選定には臭気や音的な観点か
ら課題も多いと考えられます。

【担当】都市基盤部 都市計画課（公園緑化担当） 電話：626-2165
8.1 1町内会は、区画整理をやっていないし、水道管が50年も経過している所もあるが、現状と今後の都市化についてどう考えているか。

(回答)

区画整理に関するアンケート調査では、地区内の土地・建物を所有する方の約6割の人が市街化調整区域を希望するという結果でした。区画整理を行うには、100%とは言いませんが、皆さんの賛成もう少し必要と考えられますので難しいと思います。

なお、市の水道事業では、今年3月に「福津市水道事業中期経営計画」を策定し、主要施策の一つとして老朽管の更新事業に重点を置き、耐震性のある新しい管に順次取り替えることとしています。

ご質問の水道管については、摂宜島配水場から小川地区を通って、泓ノ川の土竈橋下流部を渡り西小川地区へ配管されているもので、昭和41年度に埋設され、ほぼ50年が経過しております。

今年度はこの水道管の布設替えのためにルート検討を行います。
工事については、平成29年度頃を目途に摂宜島配水場から北に向かって施行していく予定です。

【担当】都市基盤部 都市計画課 電話：626-2165
水道部 水道工務課 電話：624-0111

8.1 市役所の新庁舎は現在の場所が良いという意見が強く、他の意見を発言しにくいと聞いていているかどうか。

(回答)

「福津市新庁舎建設基本構想 市民会議案」の概要をお送り致します（次頁添付）。
詳細につきましては福津市のホームページにあります資産経営課のページからご覧いただけます。
各候補地の比較検討資料は26ページから54ページです。

【担当】総務部 資産経営課 電話：626-1135

8.1 泓ノ川と黒石川合流点の改修はいつごろか。

(回答)

黒石川は、平成22年4月に河川整備計画が策定され、河口から県道大富藤枝線の黒石川橋までの3.25km区間について、河川管理者である県が河川改修を行う計画となっています。
現在、県は、河口から主要地方道 烏津原線の高橋までの0.4km区間について、平成24年度から28年度までの事業期間で、整備を実施しています。
泓ノ川と黒石川合流点の改修予定については、現時点では未定ですが、現在、事業中である区間の完了後に、河川整備計画に基づき下流側より順次整備する予定であるとの、県から聞いています。

【担当】都市基盤部 河川課 電話：626-2173
(ご意見・ご要望)

9.1 ① 大住雨水幹線の黒石川はけ口と取合い水路の断面拡幅について
② 弥ノ川のり面の草刈が難渋しており、防草シートの施工について

（回答）

① 黒石川吐口取合い水路の断面拡幅については、平成27年3月に黒石川の水門が撤去されたことにより河川断面が広がり、また、吐口2箇所が同時に利用できるようになったことから、流下能力が改善されたところです。また、吐口の改修については黒石川の改修計画に合わせ、計画していきたいと考えています。

② 弥ノ川法面の草刈が難渋している箇所については、防草シートを支給しますので地元で設置をお願いします。

（5月20日（水）に深津町内会長と現地立会い済）

【担当】都市基盤部 河川課 電話：626-2173

(ご意見・ご要望)

9.1 ③ 大住雨水幹線沿いの黒石川小学校への道路の防塵舗装について

（回答）

ご要望の道路は、市道 小川柳島大住線であり、平成24年度に地元自治会から舗装新設の要望を頂きましたので、現場調査を実施し要望評価を行なったところ、「低」評価となったことから舗装新設を早期に対応することは困難として自治会へ回答致しました。

今回は、防塵舗装としての再要望とのことですが、防塵舗装は耐久性が低いことから、今後も道路面に凹凸ができた際には、随時砕石補充等での対応をさせていただきたいと考えていますので、道路の損傷箇所を発見した場合には、情報提供を頂けますようお願い致します。

【担当】都市基盤部 道路課 道路建設担当 電話：626-2174
焼津市新庁舎建設基本構想 市民会議案 概要（別途資料提出回答）

第1章 新庁舎建設の背景
焼津市の庁舎機能については、過去の経緯から結果的に、南北に長い市域に庁舎機能の分散化が地形的に進むこととなり、施設本体の老朽化も顕著化している。平成26年4月現在の焼津市の庁舎は、本庁舎、議会庁舎（閉鎖）、別館（閉鎖）、大井川庁舎、アトレ庁舎、など複数の施設に分散している。物理的にも機能的にも、また安心安全の観点からも、様々な課題を抱えている状況となっている。

【現庁舎の概要】

<table>
<thead>
<tr>
<th>施設区分</th>
<th>延床面積(m²)</th>
<th>構造</th>
<th>建築時期</th>
<th>過年数</th>
<th>耐震性（ランク）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>本庁舎</td>
<td>4,944</td>
<td>S・RC 6階</td>
<td>S44</td>
<td>46年</td>
<td>1a 免震補強済</td>
</tr>
<tr>
<td>旧議会庁舎</td>
<td>3,586</td>
<td>RC 4階</td>
<td>S43</td>
<td>47年</td>
<td>解体予定</td>
</tr>
<tr>
<td>旧別館</td>
<td>1,906</td>
<td>RC 4階</td>
<td>S46</td>
<td>44年</td>
<td>解体予定</td>
</tr>
<tr>
<td>大井川庁舎</td>
<td>3,759</td>
<td>RC 3階</td>
<td>S59</td>
<td>31年</td>
<td>1a</td>
</tr>
<tr>
<td>アトレ庁舎</td>
<td>4,118</td>
<td>SRC・S 9階</td>
<td>H2</td>
<td>25年</td>
<td>1b</td>
</tr>
</tbody>
</table>

【現庁舎の課題】
- 転体、設備の老朽化
- 分散、狭隘による市民サービスの低下
- 高度情報化対応の不備
- 市民アンケート調査結果（満18歳以上の市民3,000人に意見を聞きました）
  - ○現庁舎をどのように感じているか
  - ○新しい市庁舎において重要視すること

  - 駐車場が足りない（46.1%）
  - 高齢者等が利用しにくい（30.9%）
  - 周辺の道路事情が悪い（26.5%）
  - 部署どこにあるか分かりにくい（26.5%）
  - 駐車場が十分に確保されている（59.9%）

第2章 新庁舎の基本理念と基本方針

【基本理念】
市民の安全と安心を守り、人と環境にやさしく、協働の拠点として市民に親しめる庁舎

【基本方針】
- すべての市民に開かれた庁舎
- 市民に親しまれ市民協働の拠点となる庁舎
- 新たなまちづくりにつながる庁舎
- 機能性・効率性の高い庁舎
- 地球環境にやさしい庁舎
- 防災拠点機能を備えた庁舎

【導入機能】
- 執務機能、窓口機能、議会機能、防災機能、職員に対する機能（福利厚生等）、市民に対する機能（交流の場等）、倉庫機能、環境との共生機能（省エネ等）、庁舎維持・セキュリティ機能、駐車場等機能

第3章 新庁舎の規模検討

庁舎規模を算定する方法として、総務省「地方債同意等基準運用要綱」をもとに、将来の人口減少に伴う職員数の減少を講演、基準値の17,254m²よりも小さい庁舎（約15,100m²）を想定した。諸室の兼用、外部施設の利用などの「やりくり」を見込むものとする。

算定規模  約15,100m²
職員数  649人（50年先：想定454人）

やりくり
- 駐車場：当面は既存施設を活用
- 交通室：CADでの作業を想定
- 業務支援室及び兼用
- 議場や交通部分、多目的利用を想定
- 防災機能：災害対策本部、防災倉庫
- 医務室、更衣室
- 福利厚生：医務室、更衣室等を国の基準を参考に導入。当面は共用を想定。

第4章 建設候補地の検討

建設候補地の検討にあたっては、建設候補地として現在地を含め、用地取得費用がかからない市有地を中心に8箇所選定し、（1）防災面、（2）利用性、（3）まちづくり、（4）市業用可能性の4つの視点から、8箇所を評価した。

市会議案委員が確認地を確認すると共に、1）事実解（ケース1）、2）事例化（ケース2）、3）計画地としてふさわしくない候補地の除外（ケース3）の3つの方法を用いて、候補地を選定した。
<table>
<thead>
<tr>
<th>評価結果</th>
<th>ケース1</th>
<th>ケース2</th>
<th>ケース3</th>
<th>全体評価</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1.現在地</td>
<td>○</td>
<td>○</td>
<td>○</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>2.アトレ庁舎エリア</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3.大井川庁舎エリア</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>4.新津駅エリア</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>5.西新津駅エリア</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>6.保健センターエリア</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>7.文化センターエリア</td>
<td>○</td>
<td>○</td>
<td>○</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>8.総合病院エリア</td>
<td>○</td>
<td>○</td>
<td>○</td>
<td>○</td>
</tr>
</tbody>
</table>

※（ケース1）＝各評価項目の最も多くかかった評価結果を選定して集計し、上位4か所を選択
※（ケース2）＝○：2点、△：1点、△：1点と評点化し、合計の上位4か所を選択
※（ケース3）＝「ふさわしくない箇所」として意見の多いエリアを除外し少ない上位4か所（同点3か所のため6か所）を選択

第5章 新庁舎の建設計画
【駐車場計画】
市民意見として、現在の現庁舎は「駐車場が足りない」という意見がある。
静岡県内の23市郡の状況、人口1万人当たり平均約22台の確保台数を参考に、新庁舎の必要台数を算出した。

<table>
<thead>
<tr>
<th>現在</th>
<th>必要台数計画</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>外来用143台 公車用66台 計209台 (周辺の地に分散して確保)</td>
<td>外来用225台 公車用90台 計315台を想定</td>
</tr>
</tbody>
</table>

【機能配置検討】
現在地、文化センターエリア、総合病院エリアを対象に、駐車場の必要台数と庁舎面積（15,100m²）の配置計画を想定した。駐車台数を確保するために一部、駐車場の立体化を費用計上することとした。

【概算事業費の算定】
先行する他事例の建設工事単価を参考に、新庁舎建設に係る概算事業費を算定した。

<table>
<thead>
<tr>
<th>事業パターン</th>
<th>事業費</th>
<th>備考</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>現地で建設する場合</td>
<td>現庁舎を活用する場合</td>
<td>67億円</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>解体して新築する場合</td>
<td>81億円</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>既存の駐車場の立体化を加算</td>
<td>86億円</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>総合病院エリアで建設する場合</td>
<td>96億円</td>
</tr>
</tbody>
</table>

【機能確保における留意事項（設計段階での配慮点）】
庁舎建設計段階における留意すべき事項をまとめた。
○コンパクトでフレキシブルな庁舎づくり ○ライフサイクルコストを抑えた経済的な庁舎づくり
○ユニバーサルデザインを取り入れた庁舎づくり ○防災対策の配慮等

第6章 事業手法と今後の対応
今後の事業推進にあたって確認しておくべき事項を検討した。

<table>
<thead>
<tr>
<th>事業手法</th>
<th>従来方式方式PFI方式の特徴を確認</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>資金確保</td>
<td>合併推進借換の活用可能な資金調達方法を確認</td>
</tr>
<tr>
<td>スケジュール</td>
<td>合併推進借換活用の場合は平成30年度までに完了</td>
</tr>
<tr>
<td>設計者選定</td>
<td>プロポーザル方式等、選定方式の特徴を確認</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>市民会議で議論となった「庁舎面積規模・事業費」「防災対策」「デザイン性(フレキシブルティ等)」の観点から事業者を選定できる審査方法の設定の重要性を確認</td>
</tr>
</tbody>
</table>
市政座談会 要望事項等回答書

別紙回答一覧

自治会名：小川第11 地区名：第10、3町内会
期 日：平成27年5月23日(土)
会 場：第10町内会公会堂

(ご意見・ご要望)

道路パトロールに関して
数年前、静岡市駿河区で道路照明が倒れるという新聞報道があった。昨年も石津で同様の事例が起きている。照津の場合、幸いなことに負傷者が出なかった。市では道路パトロールを車でやっていると思われるが、道路の付属物（照明灯や街路灯など）についても徒歩により年1回程度はやっていただきたい。

(回答)

道路照明等の点検は、毎週月曜日に実施する道路パトロールにおいて、照明灯の損傷の原因となる大きな揺れや変形等の異常を発見することを目的に行う「通常点検」、5年に1回の目安で行う「定期点検」、風水害等異常気象時に発生後に必要に応じて行う「異常点検」の3つの点検により、道路を利用される皆様が安全で安心して通行していただけるよう努めておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

【担当】都市基盤部 道路課
電話：626-1121

(ご意見・ご要望)

可燃物収集置き場に関して
10町内会の上荒田公園フェンス付近に可燃物収集場所がある。ビニールゴミをカーラスではなく路上生活者がゴミを散らす事例が時々あると聞いています。市の方で支援があればこのような件は起きないのではと考えている。路上生活者への対応はどのような様になっているのか。

(回答)

焼津市廃棄物の処理及び清掃に関する条例により、市または、市長が指定する者以外が、ごみ置き場所に排出された一般廃棄物を収集、運搬、処分することは禁止されています。今後、同様の行為（持ち去り）が確認されましても、まずは、地域の環境協会長にご連絡ください。環境協会長と相談し、行為者を特定に努め、持ち去り行為に対する注意喚起を行っていきます。

また、市としての路上生活者への対応につきましては、年数回市内を巡回し実態の把握に努め、路上生活者との相談の中で、様々な援助を検討し、生活保護申請や、借家を探したり簡易宿泊所や自立支援施設の紹介を行っております。

しかし、施設への入所を拒んだり、借家契約が困難な場合が多いため、また、借家契約に至った場合でも、その後のトラブル等により再び路上生活に戻るなど、様々な問題・課題を抱えていることも事実です。

今後も路上生活者等への支援について、取り組んでまいりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

【担当】環境部 廃棄物対策課
健康福祉部 地域福祉課
電話：626-1130
626-1127
（ご意見・ご要望）

2. 暗い夜中に地震が発生し停電すると街路灯が消えてしまい、今後増設する場合は太陽光発電（電池式）を検討していただきたい。

（回答）

平成25年度、26年度の2年間で市内に設置されている全ての防犯灯（約10,000灯）をLED灯に切り替え、環境負荷の低減を図ったところであります。

停電時でも明かりが点く電灯は、蓄電池を備えている電池で、市では現在、津波避難ビル（35箇所）への非常入口を照らすため設置していますが、まだまだ高価であり、増設していくことは難しいと考えています。

そのため、市民の皆様には災害時に備え、水や食料のほか、応急対策の準備をしていただくとともに、市でも避難場所への出入口に避難できるための方法を研究しています。

【担当】 総務部 総務課 電話：626-2144

（ご意見・ご要望）

3. 河川（側溝）清掃について

場所によっては（作業量の）温度差がある。上から下に流れない場所（焼津川

【回答】 指摘されました焼津川河川浴室（西小川3丁目5-7〜15地先）につきましては、
現地を確認した結果、構造上の異常は確認できませんでした。現地の側溝天端が一定
勾配であることや沿線の方々が高齢で側溝清掃が部分的にしかできないことなどから、土砂が側溝内に堆積していると思われます。

市内では、側溝に隣接している方々だけでなく地域の皆様方が協力し合って清掃さ
れているところもありますので、皆様にご協力をお願いしますが、地域でのご検討をお願いします。

なお、市では側溝の蓋上器の貸し出しを行っておりますので、その際はお聞かせください。

【担当】 都市基盤部 道路課
（道路維持担当） 電話：626-1121

別-31
市政座談会 要望事項等回答書

日程：7

別紙回答一覧

自治会名：小川第11 地区名：第3、9、4町内会
期 日：平成27年5月23日（土） 会場：小川町公会堂

（ご意見・ご要望）

5月1日の新聞に掲載されていましたが、自治会連合会から、自治会の再編ということでは市に要望があったと承知している。具申書の内容を教えていただきたい。また、行政の対応について教えていただきたい。

（回答）

5月1日の新聞掲載記事は、『滋賀市における自治会のあり方に関する検討委員会』が平成25年10月から平成27年3月まで検討を行った「自治会の組織や事業のあり方」について、意見をとりまとめ、具申書として市長へ提出をしたものです。
当検討委員会は、平成25年3月に行われた滋賀市行財政改革推進審議会の答申の「自治会の組織や事業のあり方、支援のあり方」について検討するため、設置されました。
具申書の内容は、自治会の組織や事業、役員選出、行政とのかかわりの4点について意見をとりまとめており、
・自治会の組織については、平成30年度を目標に自治会の再編に取り組んでいく
・市と協働して行う事業は、PDCA（計画・実行・検証・改善）サイクルの実施
・役員選出は「あて職」を行わない
・市と自治会は対等の立場でまちづくりを進めていくなどとなっています。
詳細な内容は、具申書の写しを自治会長にお渡ししておりますので、ご覧いただきたいと思います。

【担当】総務部 総務課  電話：626-2144

（ご意見・ご要望）

20〜30年前に滋賀市は、人件費が少ないということで全国紙に載ったことがある。おそらく20位以内に入っていた。今はどのような状況か。

（回答）

静岡県にて県内市町の決算状況の取りまとめを行い、各市町が比較できる資料の提供を受けております。
その中で、直近である平成25年度の滋賀市における普通会計の決算状況でありますが、人件費は52億6,367万円、歳出総額における人件費の割合は10.9％であり、県内35市町の中で吉田町に次ぐ2番目に低い割合となっております。
また、市内一人あたりの人件費支出額は36,664円であり、静岡県内で1番低い金額であります。

【担当】総務部 人事課  電話：626-2146

別-32
資料1の将来推計人口について、焼津市の数字が出ているので教えていた
だきたらない。
4.1 ※市長回答：人口ビジョンの検討をやり始めています。今はないので、現状の
数値を自治会長にお知らせします。

(回答) 我市の人口は、平成22年の国勢調査によると143,249人となっています。
市の「将来推計人口」（平成25年3月推計）は、国立社会保障・人口
問題研究所によると、平成52年には119,186人と見込まれています。

なお、過去年度の焼津市の人口動態につきましては、平成26年7月15日
の広報やいづ臨時号に焼津市の人口の状況と転入・転出の増減要因に
ついてのアンケート結果が掲載されておりますので参考にしてください。

総人口の推移

<table>
<thead>
<tr>
<th>年</th>
<th>人口 (万人)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1990年</td>
<td>134,428</td>
</tr>
<tr>
<td>1995年</td>
<td>139,083</td>
</tr>
<tr>
<td>2000年</td>
<td>141,452</td>
</tr>
<tr>
<td>2005年</td>
<td>143,101</td>
</tr>
<tr>
<td>2010年</td>
<td>143,249</td>
</tr>
<tr>
<td>2015年</td>
<td>143,540</td>
</tr>
<tr>
<td>2020年</td>
<td>138,630</td>
</tr>
<tr>
<td>2025年</td>
<td>136,683</td>
</tr>
<tr>
<td>2030年</td>
<td>129,186</td>
</tr>
<tr>
<td>2035年</td>
<td>124,753</td>
</tr>
<tr>
<td>2040年</td>
<td>119,186</td>
</tr>
</tbody>
</table>

資料：国勢調査
※平成27年以降は、国立社会保障・人口問題研究所による「将来推計人口」（平成
25年3月推計）

【担当】未来創造部 セール企画課 電話：626-9432
市政座談会 要望事項等回答書

日程：55

別紙回答一覧

自治会名：小川第13
地区名：（自治会単位）
期  日：平成27年10月4日（日）
会  場：小川第13コミュニティ防災センター

（ご意見・ご要望）

会下ノ島（石津）区画整理の終了はいつごろか教えていただきたい。
平成21年度に完成ということで始めたが、まだ3分の1程度しか工事が終了していな
い。

（回答）

現在の計画は平成27年度までとなっており、35年度までの延伸を国と協議してい
るところです。
家屋移転率は42％ですが、国庫補助により事業を行っており、近年は内の内示率
も厳しく、計画どおりの事業費が確保できない状況となっており、予定していた家
屋移転や工事が難しくなっております。
そうした状況の中、事業終了については明言できませんが、なるべく早くできるよ
う努めています。

【担当】都市基盤部 区画整理課 電話：626-2167

（ご意見・ご要望）

小川地区の放課後児童クラブのことだが、小川小には「かつを」、南小には
「若って子クラブ」がある。事業所がやっていることで運営が大変ということだっ
た。テレビもないしコンロも1つしかいない。市で協賛（援助）してあげることはで
きないか。

（回答）

小川小学校区には、現在、なかよし小川クラブ・小川（かつお）、サザンクラブ
の2放課後児童クラブがあり、市からの委託で運営をしています。
受託法人に聞いたところ、コンロについては、かつおには2口のガスコンロ、サ
ザンには2口のIHコンロの設置があり、テレビについては、かつおには無く、サ
ザンにはあるとのことでした。

市では、各放課後児童クラブが、児童に適切な遊びや生活の場を与える施設とし
て適切に運営されるよう、備品購入費も含めた委託をしています。
購入する備品の選択など委託費の使い方については、規定の範囲内で受託法人に
決定していただいていますが、保育方針から、あえてテレビの設置をしないクラブ
もあるようです。

【担当】こども未来部 子育て支援課 電話：626-1137

別-34
市政座談会 要望事項等回答書

自治会名：港第14 地区分名：第1、12町内会

別紙回答一覧

日程：__23__

（ご意見・ご要望）

港小・中学校のトイレについて
特に小学校の大便器が和式で汚い、洋式への改修を。

（回答）

小・中学校の施設の現状につきましては、耐震対策は全て完了したところであるが、平成26年度に実施した公共施設マネジメントによる劣化度調査の結果では、外壁のクラックや屋根（屋上防水の劣化）など、児童・生徒の安全・安心を確保するために早急に修繕を行うべき箇所が多数あります。

港小学校においては、漏水や異臭、クラック等の修繕工事、港中学校においては、屋内運動場の外壁劣化の修繕工事を行う必要があります。

このようなことから、ご指摘の学校トイレの洋式化等の整備についても、優先順位を踏まえながら計画的に実施したいと考えております。

小中学校のトイレ改修（洋式化）の現状は、港中学校を含め6校が完了し、その他3校の一部の棟が完了しています。港小学校を含め13校については、部分的な改修のみとなっています。

今後は、現状の実態を踏まえ、市全体で進められる公共施設マネジメントの保全計画実施プログラムに基づき計画的な改修を検討していきます。

* 完了 一 豊田、小川、東急小学校 豊田、小川、港中学校の6校
* 一部 一 烏津西、黒石、大井川東小学校の3校

【担当】 教育部 教育総務課 電話：662-0519
学校教育課 662-0586
総務部 資産経営課 626-1162

（ご意見・ご要望）

大富中ではタブレットを使用した授業を展開していると聞く。小川小もケーブル（東海ケーブルネットワーク）を敷設している。港学区にも計画をしてほしい。

（回答）

現在、一部の学校ではタブレット型パソコンを授業に活用しております。導入校の活用状況を参考に、今後の各学校の授業での利活用について研究を進めているところです。

なお、市内すべての小中学校には、NTT西日本による光ケーブルによるネットワークが整備され、普通教室には、無線LANの設備が敷設されています。

【担当】 教育部 教育総務課 電話：662-0512
学校教育課 662-0586
防犯灯について、昨年度一斉にLED化されたが、10年後に地元に施設を移管するときに1基1万円程度の負担が発生すると聞いたが、どうなのかでしょうか。

防犯灯のLED化は、消費電力の削減や長寿命化が図られることにより、維持管理費の削減、地球環境への配慮（地球温暖化対策）に繋がるということで、自治会と市が協働して実施した事業であります。

また、LED防犯灯は、国庫補助事業として設置したため、現在は市の所有となっておりますが、将来的には従来通り「自治会所有」に移管させていただく予定としています。

今回、設置したLED防犯灯は、光源寿命が60,000時間と言われておりますので、一日12時間点灯した場合、約13年間使用できることになりますが、言い伝えれば約13年後には、機器の取替えが必要になることになり、取替時期が一斉に訪れるため、多額の取替費用が必要になってくることになります。

市では、取替費用の一部として、基金の積立てを今年度より行ってまいりますので、各自治会においてもLED化されたことにより、削減できた防犯灯維持管理費の一部を計画的に積み立て、取替費用の準備をしていただきたい旨、総務課より自治会長様にお伝えしたところです。

なお、市の基金積立てに際して試算したものがおりますので再度自治会連合会定例会において自治会長の皆様に説明させて頂く予定です。

【担当】総務部 総務課 電話：626-2144

石津西公園の整備に関連して、歩行者専用道が整備されているが、トラロープで締め切られている。歩道が有効活用されていない。

ご指摘の道路は、自転車歩行者専用道路となる『石津下小田線』であります。皆様方の事業へのご協力により、道路は既に用地が確保されている状況ですが、整備優先度等から本線はこれまで未整備となっているため、現在の状況で開放することとは通行の利用に危険性が高いことや無断使用を抑制するなどの理由から、現地はトラロープで閉鎖しております。

しかし、その反面、ご指摘のとおり本線は防災公園の石津西公園につながる緊急避難路にも活用できる重要な役割を持つ道路でもあり、一刻も早く開通していきたいと考えております。

現在までの周辺整備状況から勘案し、平成28年度以降、早い時期に整備が出来るように事業費の調整に向け取り組んでまいります。

【担当】都市基盤部 土地区画整理事務所工務課 電話：627-9314
（ご意見・ご要望）

1 石津浜公園のサッカーフィールドとゲートボール場の間には照明灯（防犯灯）を設置して欲しいです。昨年から要望しているが、柱を立てる必要がある（金がかかる）ということから却下されたのではないか。

（回答）

平成25年度に防犯灯設置のご要望をいただいた箇所は、年度途中での追加要望であったため、工事期間中に内部検査が行われていないため、設置をすることができませんでした。このことから、工事施設業者より自治会役員様にご説明し、了承を得ているところであります。

平成26年度は、東益津地区を除く市内全域の既設防犯灯のLED化工事により、防犯灯新設補助事業が実施できなかったため、要望された箇所が現在未設置となっています。

今年度については、防犯灯の新設補助事業を行いますので、各自治会からの設置要望をお願いいたすよう、6月に自治会長様へご案内をさせていただいたところであります。

自治会が対象となりますので、設置要望数が多い場合は、設置数を調整させていただく場合があります。そのため、すぐに設置できない場合もありますので、複数個所の設置を要望される場合は、自治会内で優先順位を決めてから自治会長を通じて設置要望してください。

【担当】総務部総務課 電話：626-2144

（ご意見・ご要望）

2 一色福祉老人センターが使えなくなったので、当該地区のさわやかクラブの活動に支障をきたしている。近くに公会堂も近く拠点が欲しいので何とか「祐心館」で飲食ができるよう県に要望して欲しい。

（回答）

8月10日に福津青少年の家に確認したところ、地元の自治会へ貸し出しを行っていることから、借主である地元自治会から要望があれば検討することは出来るとのことであったため、まずは自治会と調整を行っていただき、福津青少年の家に相談していただければと思います。

（一部添付要望書への回答含む）

【担当】健康福祉部長寿福祉課 電話：626-1117
(ご意見・ご要望)

石津浜公園のサッカー場に松の18本あるが、サッカー場内に松葉が落ちたりするので枝払いをしてほしい。

(回答)

7月28日に都市計画課と地元役員様で現地会合を行い、地元で行っている石津海岸公園内の落葉の清掃が大変とのことでしたので、海岸公園側の松の枝払いを7月31日に実施いたしました。

【担当】都市基盤部 都市計画課 電話：626-2165

(ご意見・ご要望)

石津海岸公園がきれいに整備された。しかし、何か物足りないと感じている。できたら、滑り台など子ども遊具を設置して欲しい。静岡広野の公園や藤枝の三輪公園などが参考となる。

(回答)

日頃より、石津海岸公園の環境美化等にご協力いただき厚く御礼申し上げます。石津海岸公園への滑り台など子供遊具設置のご要望につきましては、管理者である静岡県焼津漁港管理事務所に対し、地元からのご要望として会議等の中で提案していきたいと考えております。

【担当】水産経済部 水産課 電話：626-1192
（ご意見・ご要望）
添付要望書による
福祉老人センターが廃止されたことにより、集会場所がなくなり、交通手段もないので、現在は祐心館で活動しているが、今後も活動できる場所の確保をお願いしたい。

（回答）
福祉老人センター廃止につきましては、ご不便をお掛けしておりますが、安全性の問題や老朽化のため、御理解いただきたいと思います。
また、廃止にあたり、さわやかクラブの役員の方々や社会福祉協議会との協議の結果、総合福祉会館及び大井川福祉センターでの活動におきましては、引き続き100円バスのご利用ができますし、使用料についても、今年度単位クラブへの補助金の増額をさせて頂きました。両施設の大広間では、カラオケやご飲食も可能となっておりますので、ぜひご利用いただきたいと思います。
各地区でのさわやかクラブ活動やミニデイサービス活動の拠点については、ご苦労されていることと思われますが、祐心館も老朽が著しいとお聞きしておりますので、他の自治会同様に、自治会として県や市の補助金を利用し会館を建設する等の検討をお願いしたいと思います。

【担当】 健康福祉部 長寿福祉課 電話：626-1117
市政座談会 要望事項等回答書

自治会名：港第23
地区名：田尻北

別紙回答一覧

期 日：平成27年9月5日(土)
会 場：田尻北岡公会堂

(ご意見・ご要望)

県道焼津大井川線沿いの、特に岩久との交差点近くで、側溝から松葉の腐った臭いなど悪臭がする。パキュームなどで汲み取ってもらいたい。
この側溝は水が流れてこない。覗いてみるとステンレスのふたがついている。これがない方が、水が流れて側溝がきれいになるのではないかと思う。

(回答)

ご要望の側溝につきましては、現地を調査したところ、土砂や松葉などの堆積がありませんでしたので、今後堆積や悪臭が確認された場合は、必要に応じて対応します。
また、ステンレスのふたにつきましては、栄田川の増水時に側溝への逆流を防止し、浸水被害を軽減するための対策として設置したフラップゲートという設備ですので、ご理解をお願いします。

【担当】都市基盤部 河川課 電話：626-2173

(ご意見・ご要望)

県道焼津大井川線の和田橋バス停近くの信号機付近が冠水する。要望書を出し
て、今年3月から4月に側溝をしてくれたが、その後連絡が無い。返事をいただきたい。

(回答)

ご要望箇所につきましては、地盤高が低く、潮位の影響を受けるなど、地形的な要因等により浸水被害が発生しやすい状況にあります。
このようなことから、昨年度地区全体について、浸水原因の現地調査等を行
い、その結果をもとに、現在、複数の対策案を検討しております。
これらの対策案がまとまりましたら、自治会と相談の上、浸水対策を進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

【担当】都市基盤部 河川課 電話：626-1118

(ご意見・ご要望)

桜大橋から上流側（木屋川沿い道路）バス路線になっていないので桜の枝が道路に覆いかぶさっている。

(回答)

現地を確認し、車両の通行に支障があるものにつきましては剪定を行います。

【担当】都市基盤部 都市計画課 電話：626-2165
大雨で木屋川の水が逆流し、浄化槽に入り込んで困っているお宅がある。どうしたら良いか。かなり前から担当課に相談していて、回答待ちになっている。

（回答）
ご要望の木屋川からの逆流防止につきましては、木屋川への放流口もしくは道路内の集水池に逆流防止弁を設置することで、河川管理者である島田土木事務所と調整をしています。
なお、集水池から上流の管渠等の施設は、利用されている市民の方々が維持管理する道路占用物件となりますので、適切な維持管理をお願いします。

【担当】都市基盤部 土木管理課 電話：626-2171
 道路課 626-2174

（ご意見・ご要望）
田尻北79－1地先の栄田川は、農業用水の関係で水位が高いため、大雨の度にあふれる。自宅の玄関先の土砂が割れ取られたり、自家用車が動いてしまったりしたこともある。栄田川の水位を下げてもえないか。排水不良でトイレ、水道も使えなくなるので困っている。
この件は以前より要望しており、下流の水門を調整してもらう。水門のモーターを修繕した方が追いついていない。地域全体の課題。抜本的な改修をお願いしたい。

（回答）
ご要望の件につきましては、8月28日付けて自治会より要望書が提出されましたので、現地を確認させていただき、小規模な修繕や河川の浚渫等で対応できる場合には順次対応してまいります。
また、河川の改修につきましては、どのような対策が効果があるか検討してまいります。

【担当】都市基盤部 河川課 電話：626-2173

（ご意見・ご要望）
石津浜公園の田尻北側の地境がはっきりしない。松林の中ほど入れていないが、どこまでが公園なのか。公園であればしっかり管理して欲しい。

（回答）
田尻北地区内における石津浜公園の区域は別紙の通りであり、指定管理者（焼津環境緑化事業協同組合）による管理を行っており、今後も適切な公園の維持管理に努めてまいります。

【担当】都市基盤部 都市計画課 電話：626-2165

別-41
(ご意見・ご要望)

道路の冠水対策（2箇所）をお願いしたい。
1-2
① 北新田道下線（北新田330-7～342-3）／ゼンリンP113 E-2
② 田尻北北新田境線（北新田403-15～418-3）／ゼンリンP113／J-1, 2

(回答)

ご要望の件につきましては、10月8日付で自治会より要望書が提出されましたが、その件については未確認でございません。今後、可能な範囲で対応を検討いたしたいと考えております。

【担当】都市基盤部 河川課 電話：626-2173

(ご意見・ご要望)

4 夏休みの文化センター休館日（月曜日）に限っての話であるが、清見田公園来訪者のために、文化センター駐車場を20～30台分開放できないか。

(回答)

現在、焼津市文化センターは第1駐車場から第4駐車場まで約500台の駐車スペースを保有しておりますが、休館日には、各駐車場はそれぞれバリケードで封鎖し、施錠しています。

休館日は、焼津市文化センター内の全ての施設（図書館・歴史民俗資料館・小泉八雲記念館・焼津文化会館）が無人となるため、休館時間内に随時営業している駐車場内の事故等への対応（消防署や警察への通報など）が困難であるためです。

また、その他、鍵の管理をどのようにするかなど、職員がいない状況での駐車場開放は、施設管理上、課題が多いわけですが、今回の要望を踏まえ、一時開放が可能かどうか、公園管理者と検討を進めてまいります。

【担当】（公財）焼津市振興公社 焼津文化会館 電話：627-3111
市政座談会 要望事項等回答書

自治会名：港第23
地区名：下小田、下小田中町
別紙回答一覧
期 日：平成27年9月13日(日)
会 場：下小田上公会堂

日程：

(ご意見・ご要望)
下小田や下小田中町などでは、浄化槽の修繕等において市からの補助金は出ないと2聞いたため、市の担当に聞いたが明確な回答が無かった。

(回答)
合併処理浄化槽の設置に対する補助についてでありますが、市では合併処理浄化槽の新設又は単独処理浄化槽からの切り替えに対して予算の範囲内で補助金を交付していますが、浄化槽の修繕については補助金交付の対象とはなっておりません。
なお、下小田中町地区については、公共下水道事業計画区域となっていることから、合併処理浄化槽設置補助金交付の対象地区ではありませんが、下小田地区については、事業計画区域ではないため、補助金の交付対象地区となっています。
公共下水道事業については、多額の予算と期間を要することから計画どおりに進んでいない状況であり、地域の皆様には大変ご迷惑をお掛けしておりますが、現在、市全体の生活排水（環境改善）について検討中でありますので、ご理解いただきますようお願い致します。

環境部 下水道課 電話：624-8300
環境管理センター 628-7408